

# 新年のごあいさつ

美波町長 影 治 信 良



新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には、ご家族と共に健やかにこの輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、町政の各般にわたり温かい、しかも深いご理解とご支援をいただきありがとうございました。さらに、各種行事の開催に際しましては、ご参加、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

地域を挙げてご支援ご協力いただきましたおかげで、NHK朝の連続テレビ小説「ウエルかめ」のロケは無事に終了することができました。町民の皆様のあたたかい気持ちに改めて厚くお礼を申し上げます。美波町がNHK朝の連続テレビ小説の舞台になることは、百年に一度あるかないかの出来事であります。この絶好のチャンスをお後の地域振興に役立てたいとの思いから、スタジオロケセットを譲り受け、旧日和佐高校体育館に再現し、七月二十五日に「ウエルかめミュージアム」としてオープンさせていただきました。町の新たな観光名所として利活用を努めてまいりたいと考えています。

また、縄文時代の遺跡である「田井遺跡」の保存活用施設が、発掘現場と由岐駅ポッポマリ内に完成いたしました。田井遺跡からは、約四万点あまりにのぼる土器や石器などの貴重な遺物が発見されました。今後、小中学生をはじめ一般の方々にも身近な場所にある田井遺跡から縄文時代の雰囲気を感じ取り、考古学や歴史に興味を持ってもらえればと期待しています。さらに第十一回全国伝統花火サミットが本町で開催され、江戸時代から続く地元の吹き筒花火をはじめ、全国の伝統花火を皆様に堪能していただきました。このように町内にある有形無形の文化や歴史を再発見し、その魅力を活かしたまちづくりも推進してまいりたいと考えています。

一方、四月には時間雨量が百ミリを越す集中豪雨により、家屋をはじめ農地・道路、河川など公共施設に大きな被害を受けました。幸いにも生命にかかわるようなこ

とはございませんでしたが、家屋の損壊や床上・床下浸水等による被災がかなりございました。被災されました方々にはあらためてお見舞い申し上げます。現在、関係行政機関と協議をしながら復旧工事を進めているところであります。今後三十年間に六十%の確率で起こると言われております南海地震に対する備えも含め、安全・安心のまちづくりにしっかりと取り組んでまいりたいと考えています。

さて、昨今の私たちを取り巻く社会は、経済・政治さらには近隣諸国との緊張関係など混沌としており、不透明で不安定な社会環境にあります。このような中、今年も、どうしたら町民の皆様方一人一人が健康で明るく生き甲斐を持って日々の生活を送ることができるか、そんな視点を絶えず持ち続けて、職員共々努力を重ねてまいりたいと思っております。そのためにも、町民の皆様におかれましては、小さなことでもなんでもお申し付け下さり、いろいろな角度から、またそれぞれのお立場からご意見やご提言をいただきたいと思っておりますので、なお一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

また、今年には合併してから五周年を迎える節目の年であり、念願の「日和佐道路（日和佐・福井間、九・三キロ）」も全線開通する年でもあります。このことを地域発展の絶好の機会として捉え、記念イベントを企画するなど町の一体感の醸成に努めながら、地域振興を図ってまいりたいと思っております。

今年が本町にとって希望と飛躍の卯年になりますよう、対話による行政をさらに推し進め、住民の皆様との相互理解、共通合意を図りながら「住んでよかったと実感できるまち」の実現に向けて、全力で町政に取り組んでまいりたいと決意も新たにしているところでありますので、ご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、幸多い年となりますことを心からご祈念申し上げます、新春のご挨拶いたします。